

CASBEE® 名古屋

I 評価結果 I

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価基準 2016年版、名古屋市の建築物環境性能評価マニュアル(2016) ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 共立マテリアル株式会社本社新工場棟 A 棟建設計画	階数	地上5F
建設地	名古屋市港区築三町二丁目 41 番地	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域、高度地区、臨港地区(工業港区)	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2025年8月20日
敷地面積	15,688 m ²	作成者	
建築面積	3,377 m ²	確認日	
延床面積	15,589 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★	☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法 このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2	Q のスコア= 2.6
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0	LR のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 建物には耐用性の高いものやリサイクル材など、建物そのものも地球環境にも優しい建材を使用し、温熱環境など周囲や地球温暖化に配慮した設計となっています。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	部品部材は耐用性に優れたものを使用し、より良い状態で長く使えるよう配慮しています。	敷地内にはなるべく多くの緑化を取り入れ、屋外や周辺への環境に配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ削減率3割以上を達成しています。	リサイクル材を多く使用し、資源消費の低減、環境負荷削減に取り組んでいます。	特別秀でた取り組みはありませんが、法規等を遵守し、地球環境や周辺環境へ配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称) 共立マテリアル株式会社本社新工場棟 A 棟建設計画

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.5
LR1	エネルギー	3.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.171428571	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.017142857	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.085714286	
3. 循環型社会				3.3
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.5



2. 自然共生

評価点 = 1.6



3. 循環型社会

評価点 = 3.3



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。